

2008年 社長(西尾 進路)年頭挨拶について

記者各位

新年明けましておめでとうございます。1月7日(月)、当社社長、西尾 進路は本社にて下記の通り年頭挨拶を行いましたのでお知らせいたします。

<要旨>

1.2008年の重点課題

損益回復に向けた課題は3点ある。

(1)徹底したコスト削減・効率化による競争力の強化

第3次中期経営計画のコスト削減目標金額の完達は、ステークホルダーへのコミットメントであり、なんとしても成し遂げなければならない。

(2)石油販売部門の建て直し

コア事業である石油精製・販売分野での恒常的な赤字体質は、決して甘受されるべきものではない。適切な販売価格体系の確立は、本来お客様が最重要視される「安定供給」と表裏一体であり、施策の完達に向け、なお一層の努力が必要である。

(3)製油所トラブルの撲滅

この間の地道な活動により、製油所トラブルは減少傾向にあるものの、「トラブル件数＝2006年度対比10分の1」の目標を一刻も早く達成することが必要である。

2.第4次連結中期経営計画の重点項目

現在策定中の第4次連結中期経営計画の重点項目は4点ある。

(1)コア事業の収益力回復

「販売組織・販売活動の効率を高めてコスト競争力を強化すること」と、「適切かつ透明な価格体系を再構築すること」は、第4次連結中期経営計画の最大の課題である。

(2)新規技術型事業の推進に向けた研究開発体制の構築

研究開発体制を見直し、限られた資源を効率的・集中的に活用し、当社の技術の強みを活かせる事業領域を見極め、将来の大きな果実につなげる。

(3)海外事業の強化

製油所をはじめとする持てるインフラや技術力をどう活用し、強化し、海外パートナーとも連携して、大きな海外マーケットにいかにかかって出るか、内需減退に縛られないグローバルな発想を以ってビジネスチャンスを活かしていく。

(4)上流事業の更なる強化・育成

当社部門の収益の柱である石油開発部門においては、アセットをしっかりと活用し、収益の拡大に資する戦略を立案し実行する。そして、そのための人材育成も着実に実施していく。

3.グループ社員への期待

「現状に甘んじないこと」、「チャレンジ精神を発揮すること」をお願いしたい。従来延長線上の発想を根本的に変えることが当社グループの構造改革に直結する。常に問題意識を持ちあらゆることにチャレンジして欲しい。更に忘れてならないことは、「顧客の視点」である。お客様と当社グループが如何にして共存共栄できるかを常に意識し行動して欲しい。

以上